

問い合わせ 市長公室企画政策係 (☎内線1207)

市民判定人、仕分け人の主な評価コメント

7 ふるさと美術館管理事業

▷運営について、市の考え方がよく分からない(見えない)。工夫すれば良いロケーションの効果を生かせると思う。可能性は高いと思う。専門職や民間、ボランティアの活用を考えて。
▷もっと生かす工夫ができる。少なくとも市として2つの美術館の経営を学芸員も入れて、本気の計画を策定し、いかに市民の支援が得られるかに挑戦すべき。
▷山の写真の分野も研究してみたい。
▷妙義山をテーマにした特色ある美術館であり、ロケーションも非常に良い。これにレベルの高い絵画を組み込み、全国に情報発信することで観光資源としての可能性を引き出していきたい。国・県との連携も進めてほしい。
▷美術品の管理・企画展の企画などについて、学芸員の力を活用し、より効率的・効果的に運営されてはと思う。
▷貸館事業については、料金設定の見直し(基準明確化)が必要と考える。
▷市立美術博物館と合併すべき。妙義には近くに個人の美術館があり、企画展もよく開催しており、入場者も多い。運営方法を学ぶべき。
▷付加価値をつける(ふれあいプラザ+ふるさと美術館=来場者アップにつながる、美術博物館+富岡製糸場=セット入場券「割安」で売上アップにつながる)財源確保、PR、Web利用
▷もっと責任を持って運営していただきたい。美術館は多数の市民に愛される場所でなければ意味がない。地の利を得ている美術館が宝のもちくされになっては困る。工夫とアイデアで人は集まる。努力不足を感じる。

9 体育施設管理事業

▷負担の公平性を確保するために、減免制度の見直しを早急に行うべき。他市の事例を明示すれば、理解してもらえるのではないかと。
▷各施設の収支状況を公開し、市民の理解も得ながら、受益者負担のあり方を検討してはどうか(減免基準厳格化、価格引き上げ)。
▷ある程度コストがかかっても、現場の業務をアウトソーシング(地域への委託も含め)することで、職員の皆さんが行政の責務となる部分について重点的に取り組めるのではと思う。
▷全体計画(短期・中期・長期)がない。耐震整備、老朽化対策なども盛り込むべきではないか。それを勘案して、使用料、減免基準の見直しを。財政部門も含めて協議を。
▷施設の場所によっては、近くの公民館などへの申請ができれば助かる。
▷体育施設の使用料が少し安い。
▷行政で管理しないとできない部分もあり、なかなか民活では難しいと思う。しかし、コストのこともあり、効率化を図り、しっかり運営していく必要がある。
▷施設数が多すぎて、管理が行き届かない。集約してコストダウンを図るべき。将来像をきちんと見せるべき。
▷一つひとつの施設の収支をはっきり計算してほしい。



8 丹生湖開発事業

▷事業シートにも5%の黒字化が記入されており、事業として自立できるのではないかと。民間でも公平性を保つ体制、契約を行うことができる。
▷湖面使用料の見直しなど、かなり改善すべき(協議すべき)課題があると思う。将来の設備投資を踏まえて、見直しが必要と考える。
▷税金を投入している意味が不明確。今後を考えると市民への情報公開と合意をまず得るべきと思う。
▷地元が事業主体となって、利益を生み続ける努力をし、儲けていただく方がよい。税金を納めていただくように向けていくべき。
▷管理釣り場の事業のみ民間へ。使用料を支払うことで「ため池」としての管理は改良区と責任の所在を明確にする。
▷税金のムダ使いにしか思えない。湖面使用料が高すぎる。事務委託をしているにもかかわらず、職員を置いている必要があるのか。
▷事業の内容を整理し、仕事ごとにレビューを実施。委託先選定に市場競争原理を導入。
▷憩いの場として自然の環境を保持する必要がある。
▷観光振興事業のため、観光資源としてたいせつなところと思っていたが、湖面権利などたいへん大きなお金が必要だったことを知り、驚いている。設備投資をして、よりよい観光地にするのか、もしくは民間に返上するのか迷うところである。

10 廃棄物減量等推進員活動事業

▷活動単位に差がありすぎるので、行政区単位で世帯数に応じて、行政区に対する補助金の中に組み入れてはどうか。また、集積所の評価はどちらか一方にすべき。
▷本格的に市として減量を推進するのであれば、制度設計(人員配置、報酬の設定)に大きな問題があると思う。
▷集積所の数に対して、中途半端な数の推進員で中途半端な報酬。自主的な活動でもあり、改善目的に対する効果が不明瞭。自治で対応すればよい。
▷市が設置した行政区単位に市が委員を委嘱する現行方式は、住民自治の上で不相当。各自治会の活動として推進できるような仕組みを再構築すべき。
▷税金を使う意味が説明できないと思う。本来は、自治で行うべきものであり、行政区への補助金から支出すべきと思う。
▷市民、住民自治で行えることで行政が税で行うことから卒業すべき。市民も財政が厳しくなった今、よく考えるべき。たいへんな努力をしている推進員に深く感謝すべき。その意を届けることをして。
▷各集積所単位で利用者(市民)が自主的に管理しているので、推進員による効果ははっきりしない。
▷本来は、住民自治によって行われるべきで、本来の姿に変えるべきであるが、区長制度が長く続いているため、移行が簡単に進まないと思われる。最低限、行政で行わなければいけないこと(集積所の確認など)を行いながら、数年かけて移行するのがよいのではないかと。
▷各地区の役員(区長、組長、班長など)に委託し、スキルアップ指導により、住民のゴミ処理マナーレベルアップにつなげることが可能。

参観者による第三者会場評価

判定基準など	7 館管理事業	8 丹生湖開発事業	9 体育施設管理事業	10 廃棄物減量等推進員事業	11 駐車場管理運営事業	12 社会教育館管理事業
● 仕分け人の判定結果 ● 市民判定人の判定結果						
廃止すべき ・必要性、妥当性がない ・効果がない、効果が薄い、逆効果 など				● ●		1
市以外が実施すべき ・市の税金を使わない	1	1			1	1
民間委託などを実施すべき (市の責任で実施)	●					
市が実施すべき 市が直接実施する が改善すべき点がある	2	4	2	2	1	
(縮小すべき)				2		
(拡大すべき)			1			
(一部見直しすべき)	2	3	● ●	3	2	● ●
今までどおり市が直接実施すべき(見直しの必要なし)		1				

11 駐車場管理運営事業

▷駐車場事業単体では、人件費1人分の義務とは考えられず、人件費を除いて黒字化していることからすれば、借地分は民間移行、公有地分は、指定管理者等の民活導入で進めるべき。製糸場との関連で言えば、一体化して対応し、無料化も考えられる。
▷観光協会やまちづくり団体、商店街などに任せべき。利益を周辺環境整備に還元する仕組みを。製糸場・観光の部署と検討してはどうか。
▷料金の見直しを。2時間500円程度は安すぎる。地元にお金落ちるシステムに早急にすべき。地元で買い物すれば割引にするなども行うべき。
▷民間活力で行うべきことで、3億2,900万円の投資も回収する責任がある。世間の相場からして、安すぎて値打ちを下けている。全体が栄えるプランに。
▷市の活性化には必要(世界遺産対策)。駐車料金設定基準が不明。
▷民活導入で無駄な支出を抑えるべき(管理・運営に甘さがある)。
▷駐車場は市の中心部にあり、商店街への買物客への利便性から市民への利用をオープンにすべき。中心部の活性化。
▷行政職員の人員費が無駄であり、民間へ委託して事業者が行われた方が効果的。出費を抑え、住民に活力のある世界遺産推進をしてほしい。
▷800万円というのは金額的に高いと思う。民間に渡したら、いくらになるかも考えてはどうか。製糸場への来場者が少ないので、管理は民間に任せたい方がよい。イベント日など一週間の中で入場者数が多い日を調べて検討してほしい。街中に人が集まるには、市民に安く車を止められるようにするのがよい。駐車場を多く設置すればよい、というものではない。

12 社会教育館管理事業

▷生涯学習団体などで協議会を作り、自主的運営に委ねていくことを考えてみてはどうか。利用者がフリーライダーになっている現状をはっきりして議論すべき。
▷講座・貸館使用料のあり方について、入館料の新設を含めて、市民と情報共有しながら見直しを行うべきではないかと(受益者負担)。利活用方法について、せっかくのすばらしい施設なので、固定観念にとらわれず、また、市民にオープンな形で再検討すべきと思う。
▷もっともっと活かす道を見出すことができると思う。青少年教育の道場という方法もある。受益者負担が役務提供で、税の支出をもっと削減すべき。
▷財務内容の公開とともに、使用料の見直しが必要だと思う。どのようにして活用を図るか、将来にわたって使い続けられるか、市民と考えてはどうか。
▷他の公民館でも可能な事業内容である。施設の利用方法を考える必要がある。文化財と考えるなら、維持管理を中心に考えるべき。
▷社会教育館は古い施設であり、修繕費が必要であるにもかかわらず、その審議委員会も設置していないのは、独断的すぎる。経営努力をもっとすべきです。青少年育成道場として復活してほしい。
▷157講座の利用以外の各種団体の利用状況が見えない。市民へのピーアールが不足であると思う。
▷もっと多くの人に利用してもらうことを考え、内容を変える必要があるのではないかと。立地的に交通手段もなく、車で行くしかない。利用者に協力を得る。建物も古く修理がかかるが、税金を使ってほしくない。
▷社会教育施設という枠をはずし、料金の改善が必要。すばらしい施設なので、別の有効利用を考えた方がよい。

事業仕分けの
評価コメント公表
その2

先月号に引き続き、各事業に対する市民判定人、仕分け人の評価コメント、参観者による第三者会場評価を公表します。
今回は、6事業の主な評価コメントを公開し、残りの事業については、広報とみおか4月号でお知らせします。
(1~6の事業については、広報とみおか2月号に掲載)

参観者による第三者会場評価
事業仕分け会場に来場した参観者に実施したアンケートによる評価。そのため事業ごとに入数異なります。